

会 議 録

1 会議名

第 12 回柿崎区地域協議会

2 議題(公開・非公開の別)

(1) 地域活動支援事業成果報告(公開)

- ・ かきざき湖八重桜広場(愛称)(柿崎川ダム第三土捨場)の八重桜の植樹及び八重桜広場看板設置事業
- ・ 米山登山道補修及び整備事業
- ・ 黒川・黒岩ふれあい事業

(2) 市からの報告(公開)

- ・ 公民館・生涯学習センター等の再配置方針等について
- ・ 諮問第 79 号に対する通知について
- ・ 平成 28 年度柿崎区における主な事業について

(3) 部会報告(公開)

(4) 地域協議会活動報告会について(公開)

(5) その他(公開)

3 開催日時

平成 28 年 2 月 26 日(金) 午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分まで

4 開催場所

柿崎地区公民館 学習室

5 傍聴人の数

5 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者(傍聴人を除く。) 氏名(敬称略)

- ・ 委 員：佐藤 健(会長)、神岡八江子(副会長)、宮澤安雄(副会長)、金子正一、木下高重、小池猛紀、小出優子、白井一夫、白井秀雄、曾田良治、長井泰雄、長井洋一、吉村 登、渡邊征雄
- ・ 事務局：柿崎区総合事務所 早川寿男所長、横田一次長、永春勲参事、大場正弘総務・

地域振興グループ長、大橋靖夫産業グループ長、嶋田祐司建設グループ長、
中村稔市民生活・福祉グループ長、唐澤幸代班長、田鹿成美主事、小田一輝
主事(以下グループ長はG長と表記)

社会教育課 佐藤政弘参事、大坪美樹主事

高田図書館 植木博雄副館長

8 発言の内容(要旨)

【横田次長】

- ・会議(地域協議会)の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【佐藤会長】

- ・会議録の確認：曾田良治委員に依頼
- ・次第3地域活動支援事業成果報告について事務局に説明を依頼

【唐澤班長】

今年度の地域活動支援事業成果報告は、1月から3月の地域協議会の中で提案者からお越しいただき行っている。前回と同様、各団体の発表時間は質疑応答を含む10分程度とする。

はじめに、「かきざき湖八重桜広場(愛称)(柿崎川ダム第三土捨場)の八重桜の植樹及び八重桜広場看板設置事業」を行ったガンバ米山に報告を求める。

【ガンバ米山 稲井さん】

～事業実績報告書により説明～

【唐澤班長】

質疑を求める。

【佐藤会長】

枯れた桜の木は、今後補充する予定はあるか。

【ガンバ米山 稲井さん】

既に枯れた桜の木は抜いており、代わりの八重桜を植えてある。

【長井(洋)委員】

植えた八重桜を、鹿やうさぎが食べて枯らしてしまうということだが、大きくなった桜も囲いをしなくてはならないのか。

【ガンバ米山 稲井さん】

鹿やうさぎの被害に遭わないように樹齢7年程の桜を植えたが、八重桜広場は雪が多いため、雪が積もると上の方の枝が食べられてしまう。しかし、去年は雪が少なかったこともあり、1本も被害に遭わなかった。

【長井(洋)委員】

大きくなっても囲いをしなければならないのか。

【ガンバ米山 稲井さん】

桜が成長しても雪が積もると上の枝まで届いてしまうので、囲いをしなければならない。地域の皆様のお力をいただいて植えた桜なのでしっかり管理していきたい。今後は、観桜会も開催したいと思っている。

【唐澤班長】

他に委員の皆様から質問を求めるが無いので、「米山登山道補修及び整備事業」を行った柿崎山岳会に説明を求める。

【柿崎山岳会 西村さん】

～事業実績報告書により説明～

【唐澤班長】

質疑を求める。

【佐藤会長】

七塘の池の管理は誰が行っているのか。

【柿崎山岳会 西村さん】

今は誰も行っていない。昔は米山講というものがあり、その方たちが池^{ざら}攪いなどもやっていたが、現在は管理するところがない状況である。

【佐藤会長】

山岳会で管理する予定はあるか。

【柿崎山岳会 西村さん】

我々もそこまでは手が出ない。

【佐藤会長】

池で産卵するモリアオガエルという希少な生物がいると聞いたことがある。

【柿崎山岳会 西村さん】

モリアオガエルは非常に珍しいカエルで、木の上で産卵する。生態系においても大事

な生物である。

【小出委員】

七塘の池は初めて知った。この池は人が入って泥攪^{ぎら}いすることができるのか。

【柿崎山岳会 西村さん】

やろうと思えばできる。漁師さんが着るような、胸まである合羽がないと入れない。昔は講の人たちが、裸になって池に入り泥攪^{ぎら}いをしたということを聞いている。

【小出委員】

泥攪^{どろぎら}いなどの管理を、山岳会だけでなく一般の人にもやってもらうようなイベントにできないか。

【柿崎山岳会 西村さん】

ぜひ皆さんの知恵とお力をお借りしたい。

【唐澤班長】

他に委員の皆様から質問を求めるが無いので、「黒川・黒岩ふれあい事業」を行った16ピースに説明を求める。

【16ピース 加藤さん】

～事業実績報告書により説明～

【唐澤班長】

質疑を求める。

【佐藤会長】

質疑ではないが、16ピースの加藤さんには、昨年12月13日に開催された地域活動フォーラムにおいて発表していただき、私も聞いていて心を打たれた。本当にお礼申し上げたい。

【唐澤班長】

他に質疑を求めるが無いので、地域活動支援事業成果報告を以上とする。

会長に議事の進行を依頼する。

【佐藤会長】

次に、次第4報告事項(1)市からの報告「公民館・生涯学習センター等の再配置方針等について」、社会教育課の佐藤参事に説明を求める。

【佐藤参事】

～資料No.1-1、1-2により説明～

【佐藤会長】

質疑を求める。

【小出委員】

現在は高田図書館の分室として位置づけられており、新聞が置かれていないが、公民館の図書室に戻るといふことは、新聞を置いてもらえるようになるのか。

【佐藤参事】

先ほど申し上げたように、限られた予算の中で、一般図書、雑誌、新聞など、柿崎区で何を購入するか決めることになる。地元の皆様のご要望をお聞きしながら進めていきたいと考えている。公民館の図書室に戻るといふ意味合いがそういうことに直結するわけではない。

【小出委員】

高田図書館や直江津学びの交流館の近くに住んでいる人たちは、公共施設が多いといふことで十分な税金の享受があると感じる。図書館に来るといふことは、新聞を読んだり、コミュニケーションを取ったりする場でもあるので、いろいろな意味合いも兼ねて、新聞くらいは各分室におけるように予算化をお願いしたい。

【佐藤参事】

総合事務所と相談をしながら進めたい。

【長井(洋)委員】

公民館の再配置計画の説明を聞いていると、柿崎区の場合、川西分館、下黒川分館、黒川分館を対象にして、できれば1つにしたいという風に聞き取れる。生活圏拠点施設、コミュニティ拠点施設は原則的に無くすといふことだが、統一した基準はあるのか。

また、今後、再配置を進めていくに従い、旧学校区単位など地域の現状に沿った形にするという考慮があるのか。行政改革を行うという観点からは、1つにする方がやりやすいのかもしれない。

【佐藤参事】

公民館の施設の再配置については、資料にあるとおり、地域に根差した活動の場がなくならないよう配慮する、ということが統一の考え方である。合併して10年、将来にわたって今の地域分けで行くのかどうか、現段階では何とも言えない。例えば、2つの地域が1つになることがあったとして、それに伴い施設をまとめるといふことがあるかもしれないが、現段階でまとめるという考えは全くない。

【長井(洋)委員】

今回の計画は、平成30年までということ、それまでにある程度の方向を出すことになると思うが、その後、次の計画があると考えておかなければいけないのか。常に見直しを繰り返していかざるを得ないという考え方で良いのか。

【佐藤参事】

当然、建物も老朽化していくので、今期の計画が終わると次期計画といったように繰り返すことになるかと認識している。

【早川所長】

補足するが、公の施設の再配置計画は平成30年までの計画について、地域の皆様と話し合いを進め、廃止や譲渡などの動きをしてきた。したがって、平成30年度以降は再配置を行わないという意味ではなく、建替えしなければいけないなど、違う意味の再配置という考え方が生まれる。

貸館施設の区分は、文化会館やリージョンプラザなどの拠点施設、市民プラザのような一般施設、そして地域集会施設という位置づけで分館やコミュニティセンターがある。柿崎の場合だと地域の集会施設に位置付けられているのが、七ヶ地区コミュニティセンターと各分館だけであるが、他の区を見ると、その他に生涯学習センターなどの類似施設があり、これらの類似施設の再配置については、これから担当課が一生懸命に地域に入り、地域の皆様と話し合いを進めていくと思う。市全体の施設を見た時に、集会施設という位置付けであれば、分館でなくてもいいのではないかという議論も出てくると思うので、これから話し合いをさせていただきたい。

【長井(洋)委員】

既に決まっているということか。

【早川所長】

今は決まっていない。これから入らせていただく。

【佐藤会長】

続いて、次第4報告事項(1)市からの報告、諮問第79号に対する通知について、事務局に説明を求める。

【大場G長】

～資料No.2により説明～

【佐藤会長】

質疑を求めるが無いので、続いて、次第4報告事項(1)市からの報告「平成28年度柿崎区における主な事業について」事務局に説明を求める。

【大場G長、大橋G長、嶋田G長、中村G長】

～資料No.3により説明～

【佐藤会長】

質疑を求める。

【長井(洋)委員】

資料の事業番号17、柿崎観光協会補助金について、増加した経緯を教えてください。

【早川所長】

柿崎観光協会に対する補助金制度だが、人件費部分については、これまで年度ごとに補助率を下げていき、最終的には自立してもらうことを目標としていた。しかし、実態と現状を踏まえた中で、少なくともそれぞれの観光協会が置かれている立場や運営の方法を勘案し、常勤の職員の2分の1の補助金を要求するというで落ち着いた。引き続き観光協会には歳入確保の自助努力をしていただく。

【金子委員】

この話は、平成28年度単独なのか、それとも1、2年続くのか。

【早川所長】

今の状況では、人件費相当部分を補助しようということなので、単年度ではなく続くのだらうと思う。

【小出委員】

資料の事業番号32の乳幼児健康診査事業について、大潟区において合同実施されることだが、4地区巡回して実施するという考えはないのか。

【中村G長】

備品等を1か所に集約し、建物としても一番新しいということで大潟区保健センターを使用することとする。なお、今年度から吉川区が大潟区と合同で実施している。

【長井(洋)委員】

事業番号30の地域支え合い事業について、65歳以上のすべての人が参加できるようにとのことだが、福祉センターだけではなく、各分館での実施も今後検討しているのか。

【中村G長】

65歳以上のすべての人が参加できるということは、対象を絞らないということで、必ずしも参加しなければならないということではない。65歳になって、何もやることがない人が家の中で引きこもりになることのないように、通いの場を設けていくというものである。今年度も出前サロンということで、黒川地区で月に1回実施しており、来年度は若干ではあるが増やしていきたい。

【長井(洋)委員】

ちなみに、川西分館では地域のサロンを開催しているが、あちらに補助をするなどの考えはないのか。

【中村G長】

川西分館の取組は、公民館活動としてすでに実施している。

【早川所長】

補足するが、川西地区で行っているようなサロンは、福祉の観点、あるいは自治の観点で生まれてきた事業ではあるが、私は決してそれだけではないと思っている。地域の皆様が徒歩や自転車でも行くことができるような、身近な活動を目指す必要がある。公民館活動というのは、地域で誰かが中心となり、我々と一緒になってやっていくということが地域に根差す一番の方法であると思う。

そのような意味で言うと、地域の中にお茶のみ場を設けるだけでも良いのだと思う。地域振興班が盛んに地域に出て入っているのだから、何かしたいことはあるか、お聞きしながら地域に入っていければと考えている。

今、私が考えているのは、この頸北地区には、マリンホテルハマナス、ゆったりの郷、鵜の浜温泉など温泉施設があるので、例えば1か月に1回や2回、バスを手配し、1日または半日でも良いので、町内会で参加者を募り、入浴して昼食をとるようなツアーが組めないかと思っている。近くにせっかく良い施設があるので、地域内での健康維持と結びつけられないかと考えている。実現するかしないかは分からないが知恵を貸してもらいたい。

【佐藤会長】

他に質問や意見を求めるが無いので、続いて、次第4報告事項(2)部会報告に入る。当協議会では、地域活性化活動を積極的に行い、全体での協議や審議を効率的に進めるため、平成26年度から3部会を設置した。この度の任期満了に伴い、これまでの活動を振

返り、各部会長から報告をお願いしたい。

【小出委員】

総務・地域振興部会ではこの2年間、主に地域活動支援事業の採択基準の見直しなどを協議した。部会を開催することによって良かった点は、少ない部員同士で協議できるので、いろいろ話ができ、互いの考えを知る機会になった。やはり、言いたいことを言い合える関係が非常に良かった。部会というものは、人と人がつながる縁をいただいたと思っている。

地域協議会委員の公募についても、なり手を増やすにはどうしたら良いかなどという課題もあったが、そこまで切り込んでいけなかったことが心残りだった。地域協議会とは何なのか、どのようなことをするのか、この辺りの共通認識を持ってもらえるような取組を、市の方でもう少しアピールしてもらうことができれば良いと思う。一方で、私たちがこの地域でどんな活動ができるか、もう少し考えなければならぬと思った。地域には町内会長協議会とまちづくり振興会があるが、20、30年後と今後この地域をどうするのかということを考え、調整していくことが地域協議会の役割なのではないかと考える。私たちは3期目ということで、委員の研修メニューも具体的には決まっていなかったように感じている。前回の地域協議会で「信越県境地域づくり交流会」の紹介があり、私も行かせてもらったが、今後の柿崎の元気を作っていくためには、地域協議会委員となる人にいろいろ学んでもらい、意見交換を行う機会が必要だと感じた。

【金子部会長】

産業振興部会の振返りということで、部会の設立当初、産業振興部会委員が柿崎区の農業・工業・商業について現状を知ることが必要であるという観点から、実際にその分野で活躍している方々を講師に迎え、実践されているプロジェクトや活動を紹介してもらおうと勉強会を開催した。農業部門では、中山間地域農業を中心に、棚田の保全や交流人口の拡大、柿崎の特産品の販売、庭先集荷サービスの取組をお聞きした。工業部門では、柿崎鉄工会の現状を、商業部門では、消費が低迷する中で、各事業者の特色を生かした経営の必要性について説明していただいた。また、これらの方々と意見交換を実施したが、柿崎の地域に付加価値をつけて観光・交流に結びつけていくことが重要であり、柿崎の観光資源は海と米山であることから、柿崎を発信するために横の連帯を深め、各団体や地域住民、行政が一体となって柿崎を盛り上げるという気運が必要であると感じた。

その後、柿崎区の観光やイベントで地域の観光や賑わいの創出に大きく関わり、中心的役割を担っている観光協会の現状と、今後の取組について部会と意見交換した。坂田池観桜会や米山山開き登山、お引き上げ商工まつり、海開き、観光地引網、納涼花火大会が主な事業である観光協会が、財源確保の点で課題を抱えており、観光協会でも経費の削減策として様々な取組、自助努力をされている姿勢がうかがわれた。部会からはイベント事業の削減や縮小案、広範囲に一般会員を募るということが意見として出された。旧上越市と 13 区に対する市の観光支援策や体制の不均衡さも意見として委員から出されたが、それらを証明するまでには至らなかったため今回は断念した。今後の対応では、観光協会の財源が厳しいのは柿崎区に限ってのことではなく、頸北 4 区の課題でもあるので、情報交換しながら、取組んでいきたいということで、部会としても観光協会の必要性や存在の意義を住民に理解してもらう活動を含め、微力ながら協力していきたいと感じている。実際に見える形でどう実現していくかが、今後の課題だと思う。

【長井(洋)委員】

教育・福祉部会では、柿崎区内の保育園について検討・協議を行った。柿崎区内の 4 つの保育園と浦川原保育園、大潟区のはまっこ保育園を視察した。今後園児が減っていくこと、今ある保育園が老朽化している中で、新たな場所へ建て替えを行うことも困難であるという市の方針も勉強させてもらい、ある程度の定数がなければいけないことも分かった。地域協議会においても柿崎区内の保育園のあり方検討委員会を設置してきたが、保育園の見直しについては、委員が改選されても取組んでいった方が良いと思う。

そして、柿崎区の健康づくり活動については、柿崎区を元気にするために必要な提案事業で何かできないかということで、保健師をお呼びし何度も勉強会を開催したが、提案するまでには至らなかった。これからも地域を元気にするために必要な提案事業に提案ができるように、しっかり計画していきたい。

また、公の施設の再配置計画にかかる柿崎体育館の今後について検討したときには、担当職員からいろんな資料を提示してもらい丁寧な説明を受けた。私たちだけではできないので、事務局と連携してやっていけば、良い協議や検討ができるのだろうと感じた。地域協議会、部会として独自にやれることは非常に少ないと思うが、総合事務所の担当職員が支えてくれるので、そのことをしっかり理解して、部会活動、地域協議会を進めていけば良いと感じている。

【佐藤会長】

私も3部会にほとんど出席したが、各部会については、検討できるものとできないものがあると思うので、テーマ設定をどのようにするかが、今後の検討課題だと感じている。

なお、部会長の皆様には、今週開催する「地域協議会活動報告会」においても報告していただく。

続いて、次第5の地域協議会活動報告について事務局に説明を求める。

【唐澤班長】

～地域協議会活動報告会資料により説明～

【佐藤会長】

意見や質問を求めるが無かったので、次第6その他に入る。

【唐澤班長】

3月5日開催「国土政策フォーラム in 上越」の参加要請

【佐藤会長】

次回の日程を確認する。

- ・第13回地域協議会：3月28日(月) 午後4時00分から
- ・柿崎コミュニティプラザ 305・306・307会議室
- ・会議の閉会を宣言

(午後3時30分 閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-536-6701 (直通)

E-mail：kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。